

自治体総合フェア2024

スーパーシティ・デジタル田園健康特区 出展報告レポート

内閣府 地方創生推進事務局

令和6年5月

自治体総合フェア2024 出展内容

「デジタル田園都市国家構想」の先導役として 「スーパーシティ」及び「デジタル田園健康特区」の取組を デジ田構想企画において紹介しました！

特設パビリオン ブース出展



スーパーシティ・デジタル田園健康特区の構想や取組について、説明員立会いのもと紹介

実施担当

地方創生推進事務局

加賀市

デジ田スピーカーズコーナー 事例紹介

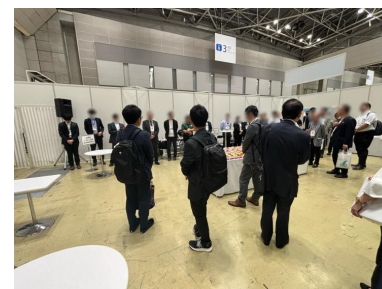


デジタル田園健康特区に指定されている加賀市の取組事例について、プレゼンテーション

実施担当

加賀市

デジ田スピーカーズコーナー 交流会



官民連携に関心の高い自治体職員や企業担当者との交流による情報交換

実施担当

地方創生推進事務局

加賀市

自治体総合フェア2024

【参考】デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 協力企画 概要

自治体総合フェア2024において、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局協力のものと、公民連携によるデジタル田園都市国家構想の推進に関する施策や取組等の紹介をする企画が行われ、内閣府地方創生推進事務局も参画しました。

企画内容

- 1 特設パビリオン
- 2 特別企画セミナー
- 3 デジ田スピーカーズコーナー

事例紹介

交流会



デジタル田園都市国家構想協力企画 特設パビリオン

10の企業・団体が参加

<自治体総合フェア2024 開催概要>

会期 : 2024年5月15日(水)～17日(金)
会場 : 東京ビッグサイト
主催者 : 一般社団法人日本経営協会

出展企業・団体 : 94社・団体
イベント来場者 : 10,040名

特設パビリオン (1) ブース出展

スーパーシティ・デジタル田園健康特区の 全体像や最先端の取組状況をパネル展示・説明員から紹介

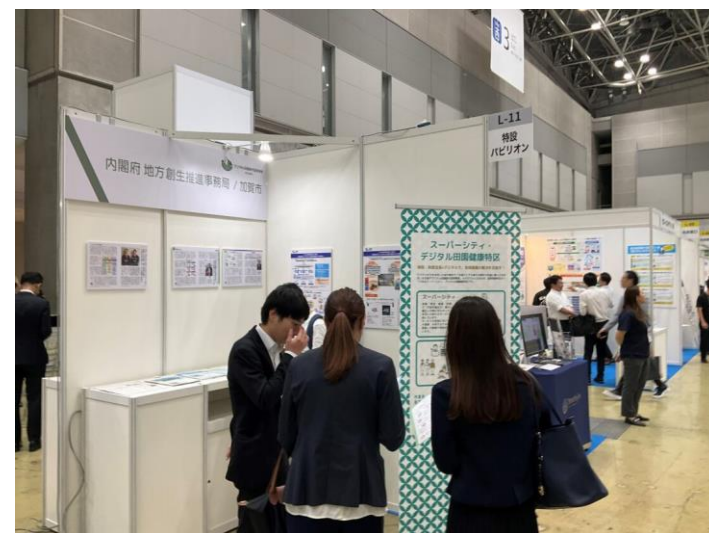
内閣府 地方創生推進事務局と加賀市の共同ブースには、全国の自治体職員を始め、公民連携への関心が高い民間企業等多くの方々が訪れ、スーパーシティやデジタル田園健康特区の概要や取組等について耳を傾けていただきました。



地方創生推進事務局／加賀市出展ブース



出展ブースの目印



取組等について紹介する様子

デジ田スピーカーズコーナー

(2) 事例紹介（プレゼンテーション）

デジタル田園健康特区・加賀市から 規制改革とデジタルの活用による特区としての事業推進等の 具体例についてプレゼンテーション

「医療版情報銀行」など規制改革を伴う事業や、顔認証を活用した生体パスポートの取組など、デジタル田園健康特区としての取組状況を紹介し、100名近くの方にご参加いただきました。



西審議官からの開会挨拶



加賀市によるプレゼンテーション



<登壇内容>

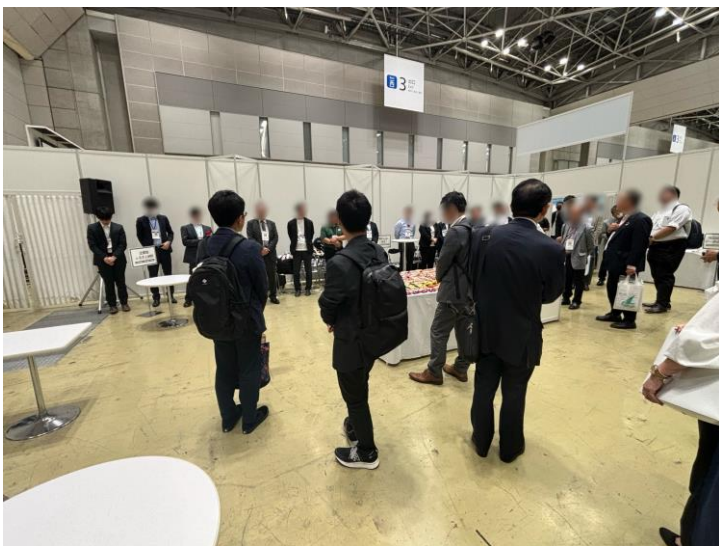
「デジタル田園健康特区・加賀市～規制改革×デジタルによる地方創生モデルの創出～」

岩城 秀雄 氏 加賀市イノベーション推進部 行政デジタル課長兼国家戦略特区室企画官

デジ田スピーカースコーナー (3) 交流会

国の実務担当者や自治体職員、企業担当者等同士が デジタル田園都市国家構想の実現に向けフランクに話し合える場に

加賀市担当者及び内閣府国家戦略特区担当で交流会に参加し、全国の自治体職員や企業担当者等との交流を図りました。スーパーシティ・デジタル田園健康特区での取組等と各自治体・企業の取組について情報交換し、今後の共創の可能性を探りました。



交流会会場



加賀市とのコミュニケーション

特設パビリオン・デジ田スピーカーズコーナー 【参考】出展資料

■内閣府ブース展示・配布資料



スーパーシティ・デジタル
田園健康特区パンフレット
[こちらからご覧ください](#)



つくばスーパーサイエンス
シティ構想(リーフレット)
[こちらからご覧ください](#)



大阪府・大阪市スーパース
ティ構想(リーフレット)
[こちらからご覧ください](#)

特設パビリオン・デジ田スピーカーズコーナー 【参考】出展資料

■内閣府ブース展示・配布資料



スーパーシティ・デジタル田園健康特区インタビュー
こちらからご覧ください [つくば市](#)

[大阪府・大阪市](#)

[加賀市](#)



リーフレット「法律などのルールが
問題で事業がうまくいかず困っている
ことはありませんか？」

[こちらからご覧ください](#)

■加賀市ブース展示資料／プレゼンテーション資料

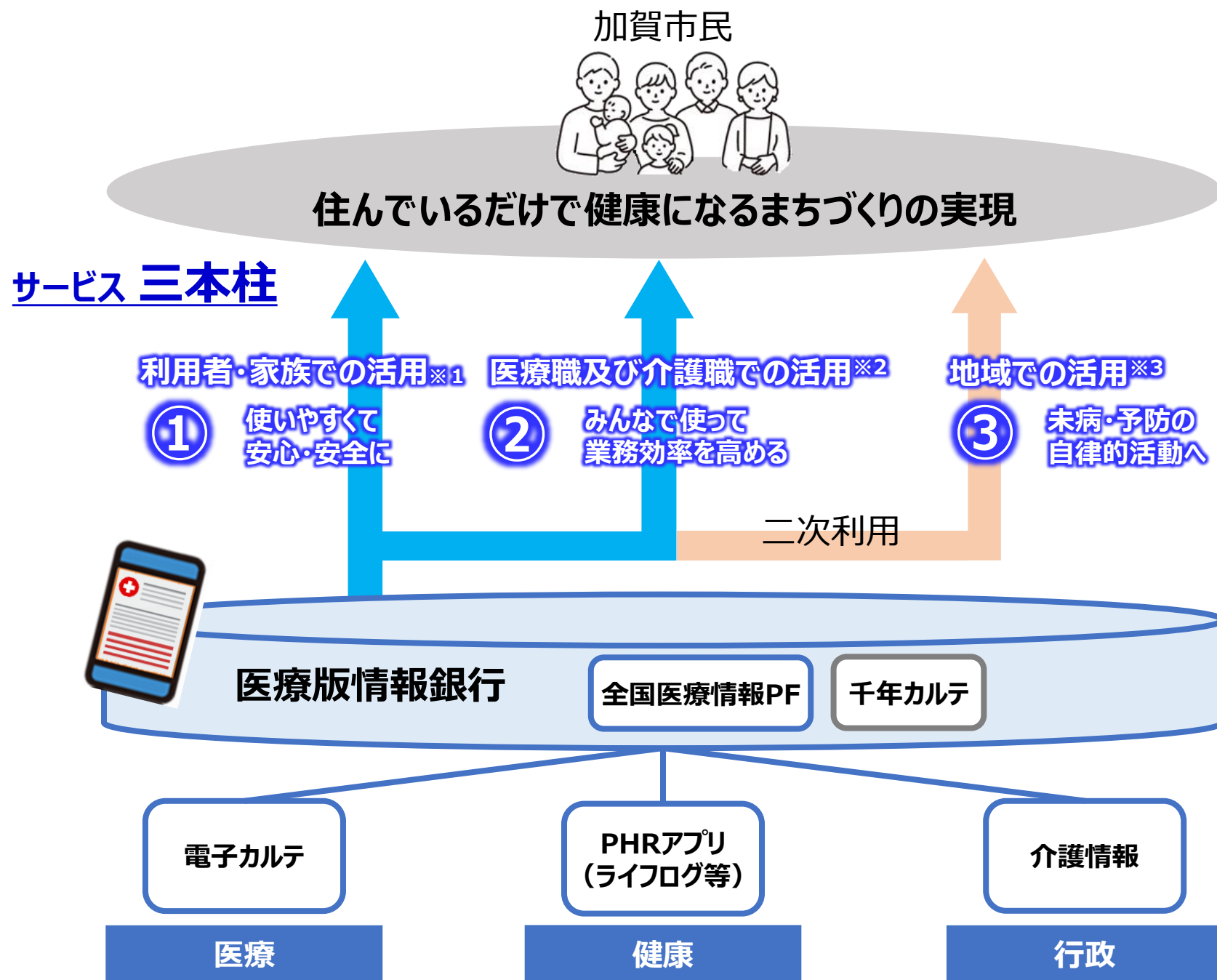
(別紙1) 展示パネルデータ

(別紙2) デジ田スピーカーズコーナー登壇 プレゼンテーション資料

デジタル田園健康特区・加賀市 ～規制改革×デジタルによる地方創生モデルの創出～

医療機関データと、PHRや行政データの組み合わせによる新しい価値の創出

医療版情報銀行構想によって目指す健康寿命の延伸



※1
利用者・家族での活用
(例) ▶セルフケア能力の維持向上
(早期の気づき、改善へ)
✓ 自身で健康情報を管理し、閲覧できる
✓ その情報を分析し、個人個人のより良い生活改善への
アドバイスの発信

※2
医療職及び介護職での活用
(例) ▶本人の状態の維持改善及び悪化防止
✓ 在宅医療と介護・福祉施設の連携強化
✓ 入退院時の引継ぎの自動化
- 様式を電子化し、様式をやりとりする
- タイムリーに本人の状態がわかり、支援に活かす
- 診療報酬・介護報酬の算定
- 入院中のリハビリ計画の継続性

※3
地域での活用
(例) ▶情報分析し、生活課題解決の新たなサービスの
開発、創設
✓ 金沢大学との共同研究
✓ フレイル予防AI
✓ メンタルヘルスの予防AI
✓ エビデンスの基づくプログラム提供

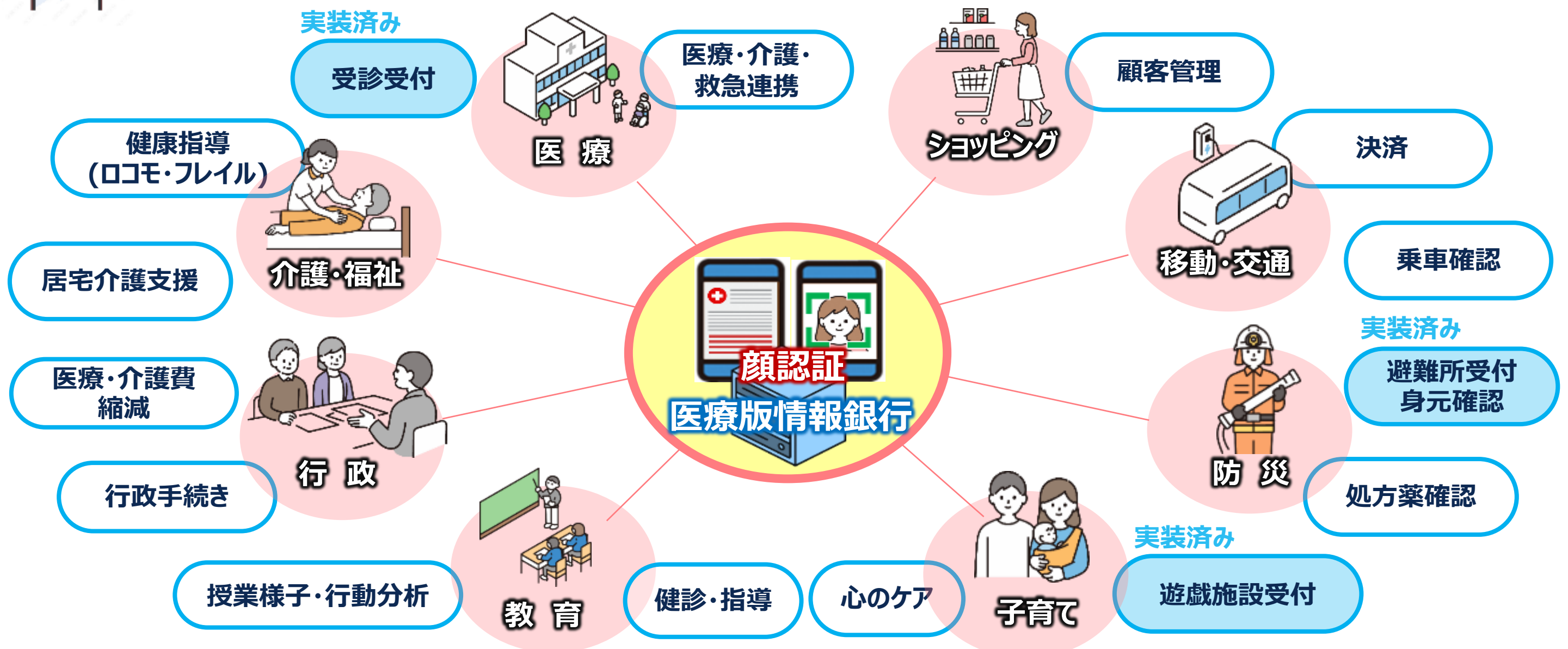
規制改革により
取組を加速

デジタル田園健康特区・加賀市の提案に基づき、「情報信託機能の認定に係る指針」の改定が実現 (R5.7)
(情報銀行において健康医療情報の取り扱いが可能に)



マイナンバーカードをトラストアンカーとする加賀市版スマートパス構想

顔認証 (生体パスポート) を核とするパスワードレス社会の実現へ



遊戯施設受付

★かがにこにこパーク



市内在住者は「にこパス」の持参が不要に。
子どもは保護者のアカウントと紐づけ登録する
ので、何かあった場合に緊急連絡することも可
能です。

受診受付

★加賀市医療センター



顔認証で「診察券」の持参が不要に。
顔認証すると予約していた診療科に案内され
ます。

避難所受付 身元確認

★避難所



避難時マイナンバーカードでも受付できます。
顔登録していれば、「マイナンバーカード」の持
参が不要に。
また、罹災証明の申請にも直結します。

デジタル田園健康特区・加賀市 ～規制改革×デジタルによる地方創生モデルの創出～

イノベーション・エコシステムの地方モデル構想

“e-加賀市民”ネットワークによる国内外デジタルノマドが集まる地方拠点へ

グローバル スタートアップ

スタートアップ規制改革

外国人起業活動促進事業（経済産業省）

国家戦略特区の特例	創業人材等の多様な外国人の受入れ促進
	創業外国人材の事業所確保要件の緩和
	開業ワンストップセンターの設置
	課税の特例措置

テクノロジー

AI規制改革

AIテストベッドの整備
AI事業者認定制度
実証実験に関する手続きの簡素化
就労VISAに関する発給要件の設定
AIアプリ開発時の同意取得義務化 (チャットボット、ディープフェイク等)

web3規制改革

含み益課税の除外
20%申告分離課税
暗号資産交換時 非課税
暗号資産交換業の登録免除
LPSの事業内容拡大



加賀市イノベーションセンター
グランドオープン(23年6月～)

地域・観光資源



クリエイティブ



具体的な取り組み

e-加賀市民

取得してお得に！e-加賀市民証2024開始



e-加賀市民って？

e-加賀市民証を取得すると、加賀市で“お得なサービス”を受けられます。

誰でも取得可能です。詳しく見ていきましょう！



無料 /

NFT初心者
大歓迎

地域周遊を楽しみたい人や観光客向き！
各店舗で割引サービスを受けられます。

- 日本酒試飲 1杯無料
- 塗箸 1膳無料
- 箸置き製作体験量 半額
- 作陶体験 粘土 1割増量
- 時計・ジュエリー 20%OFF
- e-スポーツ利用料 割引 など



有償販売
5,000円

限定500枚

ビジネスノマドや開発エンジニアの
多拠点拠点として市内サービスが充実！

- 温泉旅館ワーケーション（宿泊割引）
- スタートアップの総合窓口の利用可能
- 開業ワンストップセンターの利用可能
- 創業手続きの簡素化
- スタートアップ VISA の申請可能
- 実質ゼロコストで創業可能
- 起業家育成プログラムへの参加無料 など

e-加賀市民証サイト
はこちらから



<https://www.kaga-e-residency.jp/>



デジタル田園健康特区・加賀市 ～規制改革×デジタルによる地方創生モデルの創出～

加賀市イノベーション推進部
行政デジタル課長
兼国家戦略特区室企画官
岩城 秀雄

自治体総合フェア 2024年5月16日

加賀市はこんなところ

Ishikawa prefecture
石川県

Kaga city
加賀市

東京から
飛行機 1時間30分
北陸新幹線 3時間



2024年3月16日 北陸新幹線 加賀温泉駅開業

加賀市の特徴

消滅可能性都市

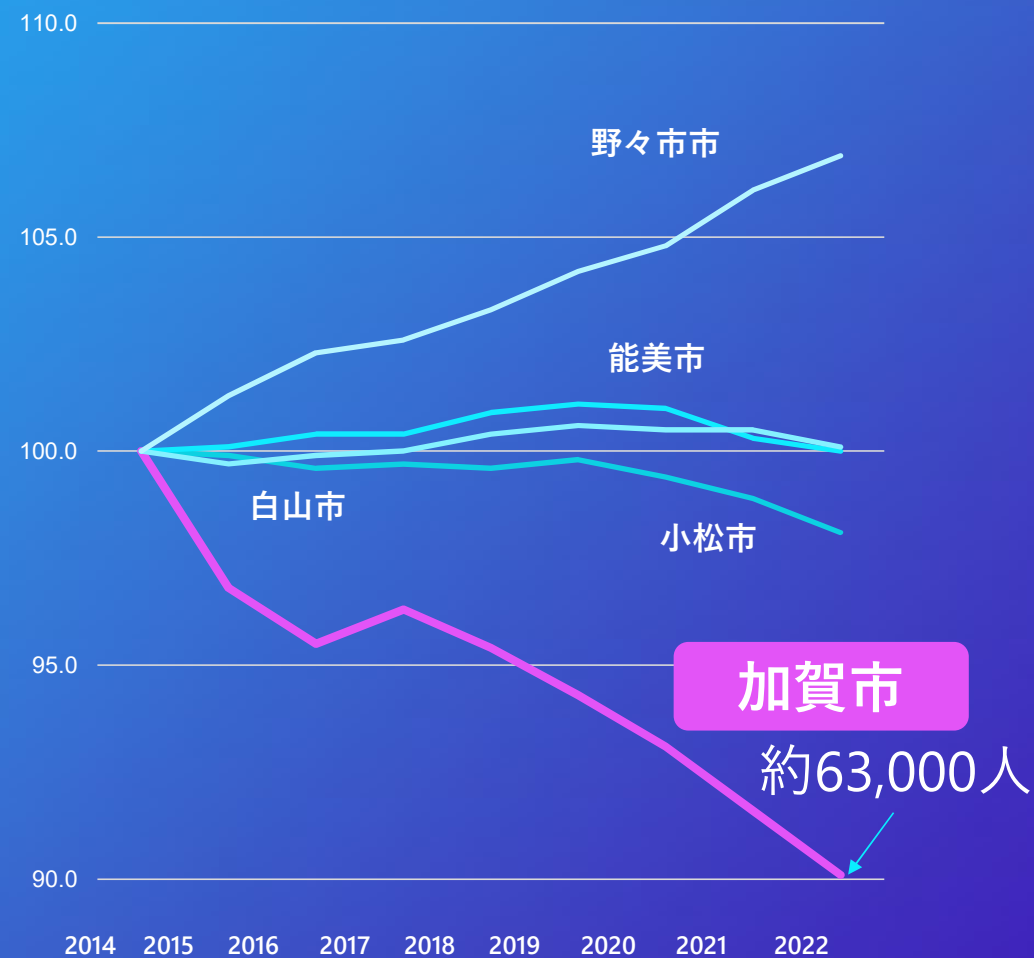
と呼ばれている

Kaga city
加賀市

Kanazawa city
金沢市

金沢市以南
で唯一

(%) 人口推移



加賀市の特徴

多極分散型の都市構造

市内企業の
99%が中小企業

市内の約3割が
製造業従事

市内に
高等教育機関がない



スマートシティ加賀のあゆみ

2016.7

地方版IoT推進ラボに選定

2019.8

スマートシティ
推進官民連携協議会の設立

2020.3

スマートシティ宣言

2020.10

G20スマートシティ・パイオニア都市認定

2021.10

マイナンバーカード交付
全国トップクラス
デジタル社会推進賞

2022.4

北陸3県初の
国家戦略特区へ認定
(デジタル田園健康特区)



新しいストーリーが生まれる 加賀市イノベーションセンター

令和4年3月に、北陸で初めてとなる国家戦略特区に加賀市が認定されたことを喜ぶでしょうか。国家戦略特区は「世界でいちばんビジネスをしやすい環境」をつくることを目的に創設されたものです。これまで規制があつて難しかったことも、国家戦略特区なら、規制改革を集中的に行えるため、「加賀市でなら挑戦できる」という土台ができてきています。

また、マイナンバーカードの高い普及率や、空の自動飛行に必要な3Dマップを市内全域で作成するなど、加賀市は独自の新しいビジネスに必要な基礎の整備も進めてきました。

この度、新しいビジネスが生まれる場所、そして新たなコミュニティやつながりが生まれる拠点として、加賀市イノベーションセンターを拡張しました。この場から新たなストーリーが始まることを期待しています。



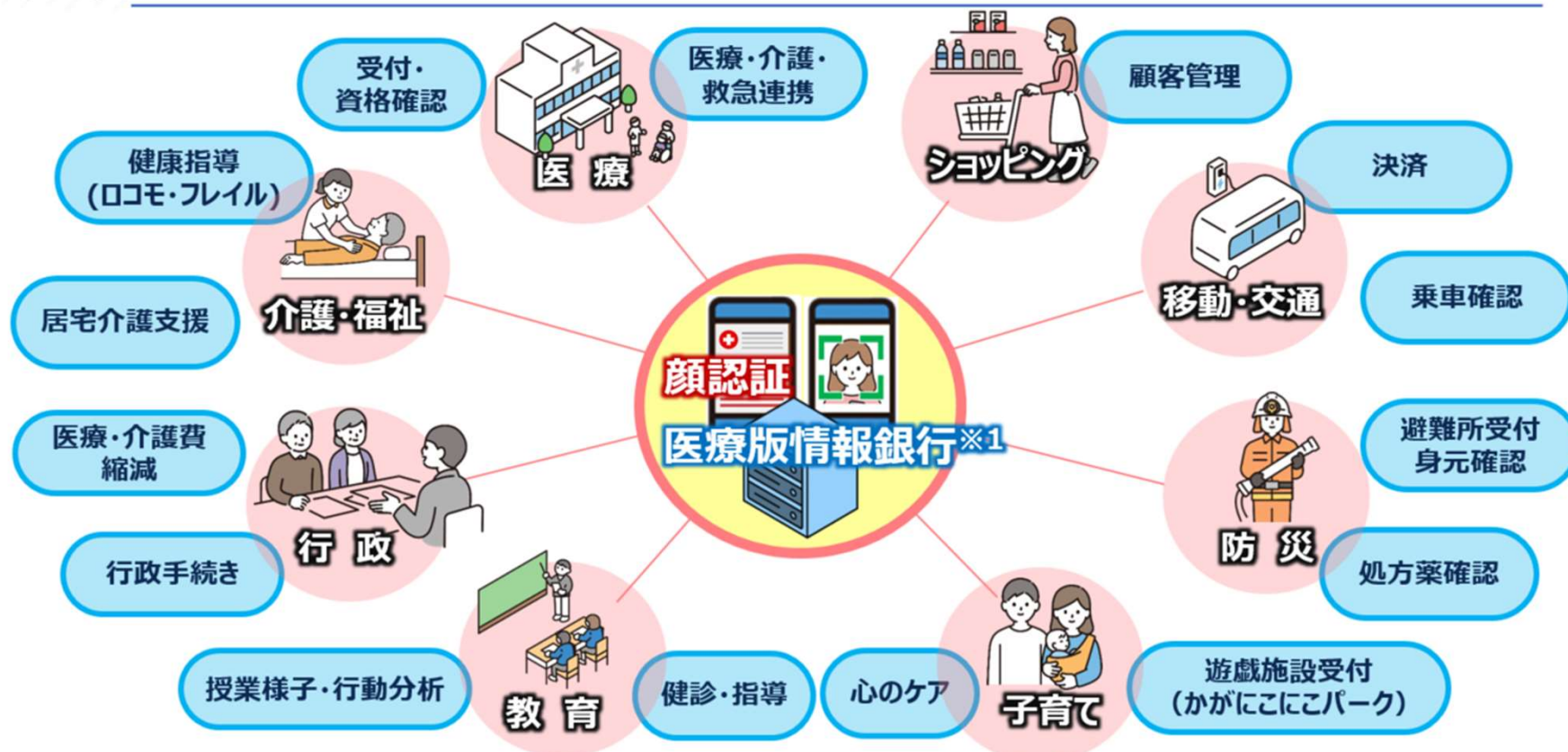
デジタル田園健康特区



マイナンバーカードをトラストアンカーとする加賀市版スマートパス構想

※1 総務省(R5.7月)「情報信託機能の認定に係る指針Ver3.0」改定

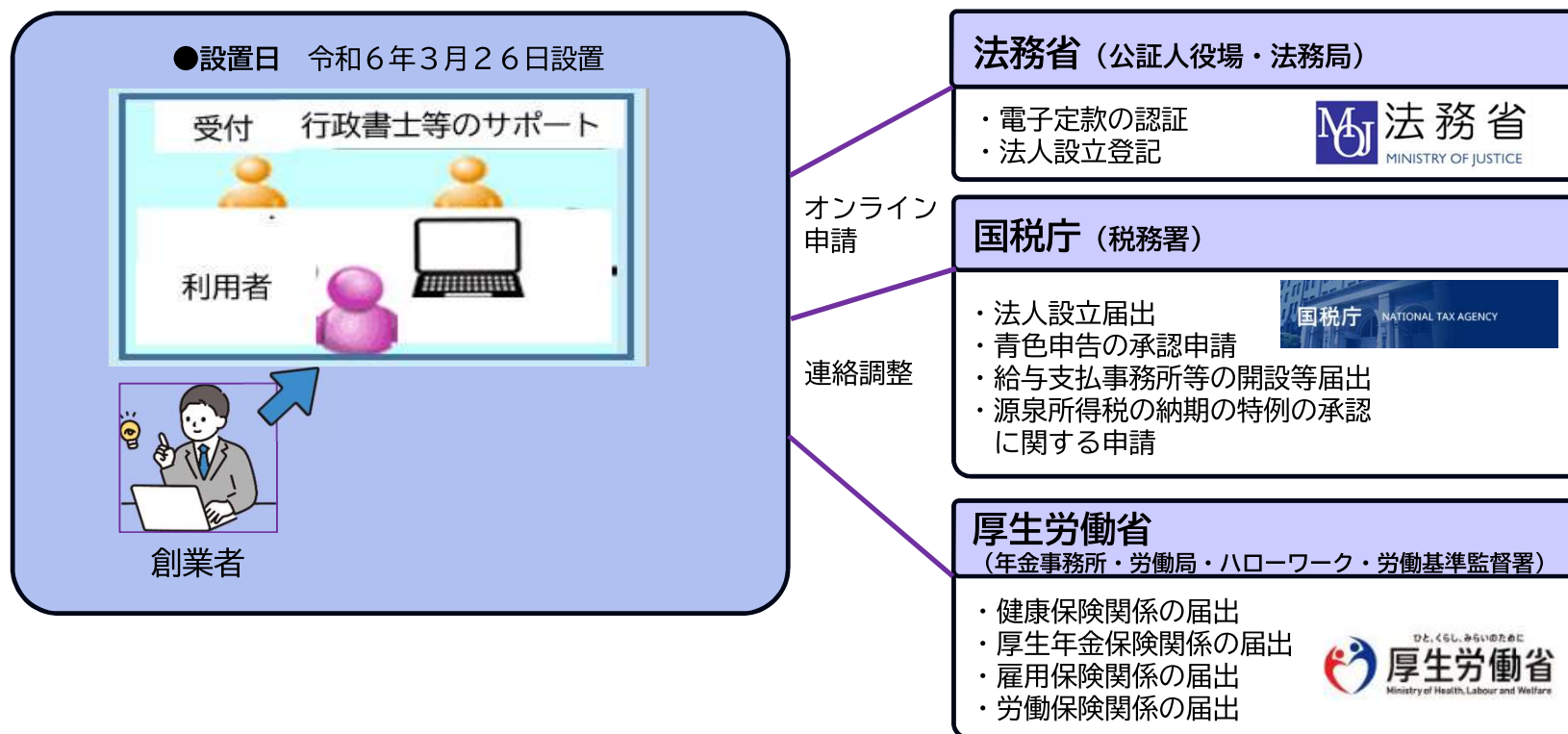
顔認証と医療版情報銀行を核とするパスワードレス社会の実現へ



医療・健康分野を皮切りに市民生活のあらゆる分野でDX及び規制改革を先導する

開業ワンストップセンター

- ✓ 登記、税務、社会保険等の法人設立や事業開始時に必要な各種申請等のための窓口を集約
- ✓ 通常はそれぞれの窓口を訪問して実施する各種手続をインターネットを通じてワンストップセンターにて実施可能とし、開業時の負担軽減を目的とする。



スタートアップVISA

経済産業省における特例

(令和5年2月17日)

外国人創業活動に関する特例

経済産業省の認定を受けた加賀市では、外国人起業家に対して、最長1年間の入国・在留が認められる。

さらに、加賀市の管理・支援プログラムを活用することで、地方出入国在留管理局から「経営・管理」在留資格が付与される。



経済産業省特例

① 在留資格「特定活動」

最長1年間

最長1年6カ月のビザ猶予

加賀市等による管理支援プログラム
(創業支援、進捗確認、生活サポート等)

国家戦略特区における特例

(令和5年3月24日)

創業までの猶予期間の延長認定

創業のため入国する際、事業所の確保、2人以上の常勤職員もしくは500万円以上の出資金の要件確認が必要となっている。



国家戦略特区の特例

自治体が事業計画を認定すれば、
入国時の要件確認を6か月猶予する。



② 在留資格「経営・管理」

最長6カ月

(継続してサポート)

創業拠点の特区独自認定

創業外国人材の特例では、入国時に、6か月以内に事業所を確保する見込みが要件となっている。



国家戦略特区の特例

一定の要件を満たせば、1年間に限り、
自治体が認定するコワーキングスペースや
シェアオフィスでも事業所として認める。



更新

在留資格「経営・管理」

最長1年

③ 認定コワーキングスペース等も対象

情報銀行から 医療版・情報銀行構想へ

加賀市からの規制改革などの提案と、その後の国家戦略特区ワーキンググループでの検討を経て「情報信託機能の認定に係る指針Ver3.0」の改定につながる

総務省資料：2023年11月「情報信託機能の認定に係る指針Ver3.0」の概要について」より抜粋

情報銀行とは

- 「情報銀行」は、個人の実効的な関与（コントローラビリティ）の下でパーソナルデータの流通・活用を効果的に進める仕組みであり、その普及により、新規サービスの創出や国民生活の利便性の向上などが期待される。
- 2017年より総務省・経済産業省合同で検討会を開催。民間団体による情報銀行認定スキームに係る指針である「情報信託機能の認定に係る指針」を2018年に公表。以降、個人情報保護法の改正など、パーソナルデータの取扱いに係る状況に応じて改定を実施。
- **直近では、健康・医療分野の要配慮個人情報の取扱いに係る要件等を盛り込んだ認定指針Ver3.0を2023年7月に公表。**
- 認定事業者数は現在 4 社（2023年8月現在）。今後も拡大を見込む。

情報銀行のイメージ



「情報信託機能の認定に係る指針Ver3.0」改定概要

～情報銀行における健康・医療分野の要配慮個人情報の取扱い～

検討の背景等

- これまでの指針では要配慮個人情報を含む事業は認定の対象外であったが、**健康・医療分野の要配慮個人情報**は利用者個人や社会のために活用するニーズが高いと考えられることから、**情報信託機能における当該情報の取扱いについて**、対象情報、本人同意、審査要件等を整理し、認定に当たって必要な事項を盛り込むための検討を実施。
- 要件等の検討に当たっては、「情報信託機能の認定スキームの在り方に関する検討会」の下に「**要配慮個人情報WG**」を設置し、**健康・医療分野の専門家も含めて議論**。
- 令和4年11月から令和5年3月までWGを計4回開催。パブコメを経て、同年7月に認定指針を改定。

主な指針の改定ポイント（健康・医療分野の要配慮個人情報の取扱い要件）

1 利用用途の制限

- 第三者提供・活用する場合、利用者個人にとって「**明確な便益**」があり、かつ、**不利益が生じるおそれがない**ことを求める。
- 利用者個人以外のために利用する場合は、当該個人以外のために利用目的に**公益性**があることを求める。

2 対象情報の範囲

- 取扱可能な情報の範囲は、**PHR指針※に定める「健診等情報」**に該当し、利用者個人が**十分に理解**することができる**医療情報**とする。
- 取扱可能な情報に該当する場合は、情報銀行内の**データ倫理審査会にて審議**する。

※PHR指針：民間PHR事業者による健診等情報の取扱いに関する基本的指針（総務省、厚生労働省、経済産業省）

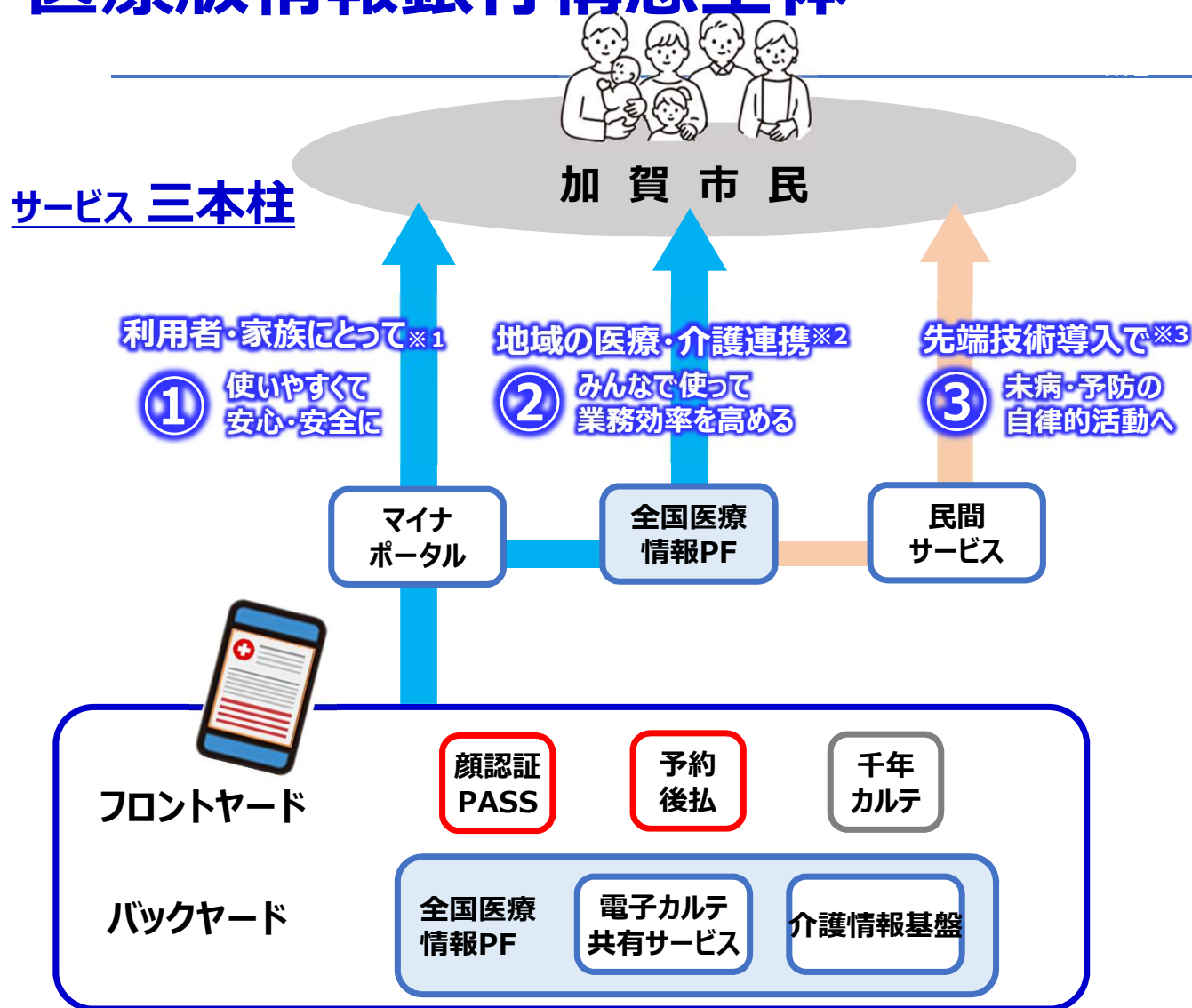
3 医療専門職等の関与

- 認定団体における**認定・更新時**、情報銀行における**データ取得・提供時**に、医療専門職の関与を求める。
- 情報銀行がデータを取得する際には、利用者個人の正確な判断を助けるため、利用者個人に**かかりつけ医等の助言**を受けるよう促す。

4 安全管理措置

- 現行の指針で求める基準に加え、医療情報を扱う事業者を対象とする既存のガイドラインである「**医療情報を取り扱う情報システム・サービスの提供事業者における安全管理ガイドライン**」の遵守を求める。

医療版情報銀行構想全体



(例) 利用者・家族にとって ※1

- ▶セルフケア能力の維持向上（早期の気づき、改善へ）
- ✓ 自身で健康情報を管理し、閲覧できる
- ✓ その情報を分析し、個人個人のより良い生活改善へのアドバイスの発信

(例) 医療職及び介護職にとって ※2

- ▶本人の状態の維持改善及び悪化防止
- ✓ 在宅医療と介護・福祉施設の連携強化
- ✓ 入退院時の引継ぎの自動化
- 様式を電子化し、様式をやりとりする
- タイムリーに本人の状態がわかり、支援に活かす
- 診療報酬・介護報酬の算定
- 入院中のリハビリ計画の継続性

(例) 地域づくり ※3

- ▶住んでいるだけで健康になるまちづくり
- ▶情報分析し、生活課題解決の新たなサービスの開発、創設
- ✓ 金沢大学との共同研究
- ✓ フレイル予防AI
- ✓ メンタルヘルスの予防AI
- ✓ エビデンスの基づくプログラム提供

生体パスポート

手ぶらで大丈夫！

顔認証で 市内施設の受付ができます！ 加賀市版スマートパス構想がはじまりました。

顔認証で受付ができる施設（4月現在）

★にこにこパーク

市内在住者は「にこパス」の持参が不要に。

子どもは保護者のアカウントと紐づけ登録するので、何かあった場合に緊急連絡することも可能です。

★加賀市医療センター

顔認証で「診察券」の持参が不要に。

顔認証すると予約していた診療科に案内。

★避難所

避難時マイナンバーカードでも受付できますが、顔登録していれば、「マイナンバーカード」の持参が不要に。また、罹災証明の申請にも直結します。



顔認証の登録手順 かんたん3ステップ

1 スマホにアプリをダウンロード

PASS アプリの
ダウンロードはこちらから



AppStore(iPhone) または
GooglePlay ストア (Android)
で顔認証アプリ「PASS」を
ダウンロードし、
インストールします。

顔認証で受付！



2 顔情報の登録

マイナンバーカードを
読み込むことで本人認証し、



顔情報を
登録します▶

3

施設の登録
利用する施設を登録します。



医療情報管理アプリ NOBORI（ノボリ）

医療情報管理アプリ NOBORI（ノボリ）について

令和6年3月25日 運用開始

加賀市医療センターでは「自分の処方履歴や検査結果を確認したい」「待合番号をスマホで見たい」「会計待ち時間が長い」「家族の予約日時や検査結果を確認したい」「人間ドックの結果をスマホで見たい」という患者さんのご意見にお応えして、「医療情報管理アプリ NOBORI（ノボリ）」を導入いたします。



NOBORIでできること

診察待ち順番の確認

待合順番がスマホで見ることができます。
順番が近づくと通知が届くので、
呼び出しがあるまで好きな場所で過ごせます。



診察予約情報の確認

今回の診察予約(日時、診療科)が確認できます。
予約日の1週間前、3日前、前日にそれぞれ通知が届きます。



通院履歴、診療情報、 健診結果の閲覧

当院で行った検体検査、画像検査、処方、注射、健康
診断、人間ドックの結果を閲覧することができます。
患者さん本人の同意があれば、ご家族の方のスマホ
で閲覧することもできます。



医療費の後払い (令和6年4月運用開始予定)

NOBORIにクレジットカードを登録しておくと、ファ
イルを会計窓口に出された後、支払いまで待つこと
なく、そのまま帰ることができます。



e-加賀市民

取得してお得に！e-加賀市民証2024開始



e-加賀市民って？

e-加賀市民証を取得すると、加賀市でお得なサービスを受けられるんです。
誰でも取得可能です。詳しく見ていきましょう！



無料！

NFT初心者
大歓迎



地域周遊を楽しみたい人や観光客向き！
各店舗で割引サービスを受けられます。

- 日本酒試飲 1杯無料
- 塗箸 1膳無料
- 箸置製作体験量 半額
- 作陶体験 粘土 1割増量
- 時計・ジュエリー 20%OFF
- e-スポーツ利用料 割引
- 移住体験プログラム 参加無料 など



有償販売
5,000円

限定500枚

ビジネスノマドや開発エンジニアの
多拠点拠点として市内サービスが充実！

- 温泉旅館ワーケーション（宿泊割引）
- スタートアップの総合窓口の利用可能
- 開業ワンストップセンターの利用可能
- 創業手続きの簡素化
- スタートアップ VISA の申請可能
- 実質ゼロコストで創業可能
- 起業家育成プログラムへの参加無料 など

e－加賀市民



<https://www.kaga-e-residency.jp/>

消滅可能性都市の、逆転劇。 起こしたくないか。

2014年、自治体の約半数が愕然とした。

消滅可能性都市に指定されたからだ。

加賀市も、その一つ。

もちろん、このまま消える気なんてなかった。

デジタル化にすべてをかけて、復活してやる。

2022年、ITとは無縁と思われたこのまちが、

「デジタル田園健康特区」に指定されるまでに育ってきた。

けれど、地域は自治体だけじゃ変えられない。

主役は、あくまで民間企業。

加賀市から全国初の試みを広げていきたい。

デジタルの力で、どこよりも新しいまちをつくりたい。

そんな熱意のある仲間が必要だ。

私たちが変われば、全国896の消滅可能性都市だって復活できる。

これを読んでいるそのあなた。逆転劇の幕を、上げてくれ。

加賀市



～国家戦略特区 加賀市～

fin